

# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No.114501

車両情報

日産 デュアリス

平成19年5月～

ES-89Light **Type** N.L.

**Opt.**

Ⓛ J10系  
Ⓛ イモビライザー（インテリジェントキー）無し車のみ

### Ⓛ 特有の注意事項（使用できない機能等について）

Ⓛ ①オートロック機能は、使用できません。…機能が作動しないため。

### Ⓛ 助手席側の外し方

- Ⓛ ⑦左サイドのカバーを先に外す。
- Ⓛ ⑧グローブBOXを外す…ネジは7本。
- Ⓛ ⑧BCMを固定ステイと一緒に外す。…ステイの固定ネジは4本。（左右に各2本ずつ）
- Ⓛ ⑨BCMは外して裏側を向けてから配線作業をする。

### Ⓛ 運転席側カバー類の外し方

- Ⓛ ①サイドステップカバーを外す。
  - Ⓛ ②サイドカバーを外す。
  - Ⓛ ③ロアカバーを外す。…右側オープナーのボルト（2本）を先に外してから、ロアカバーを手前に引っ張り外す。
  - Ⓛ ④コラムカバーを外す。…下側からネジ3本。
- ※以下の部品は、必要に応じて外す。
- Ⓛ ⑤メーターフードを外す。
  - Ⓛ ⑥メーター本体を外す。

### A/T車設定が必要な行 ↓のみ

(A/T車設定作業について)  
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

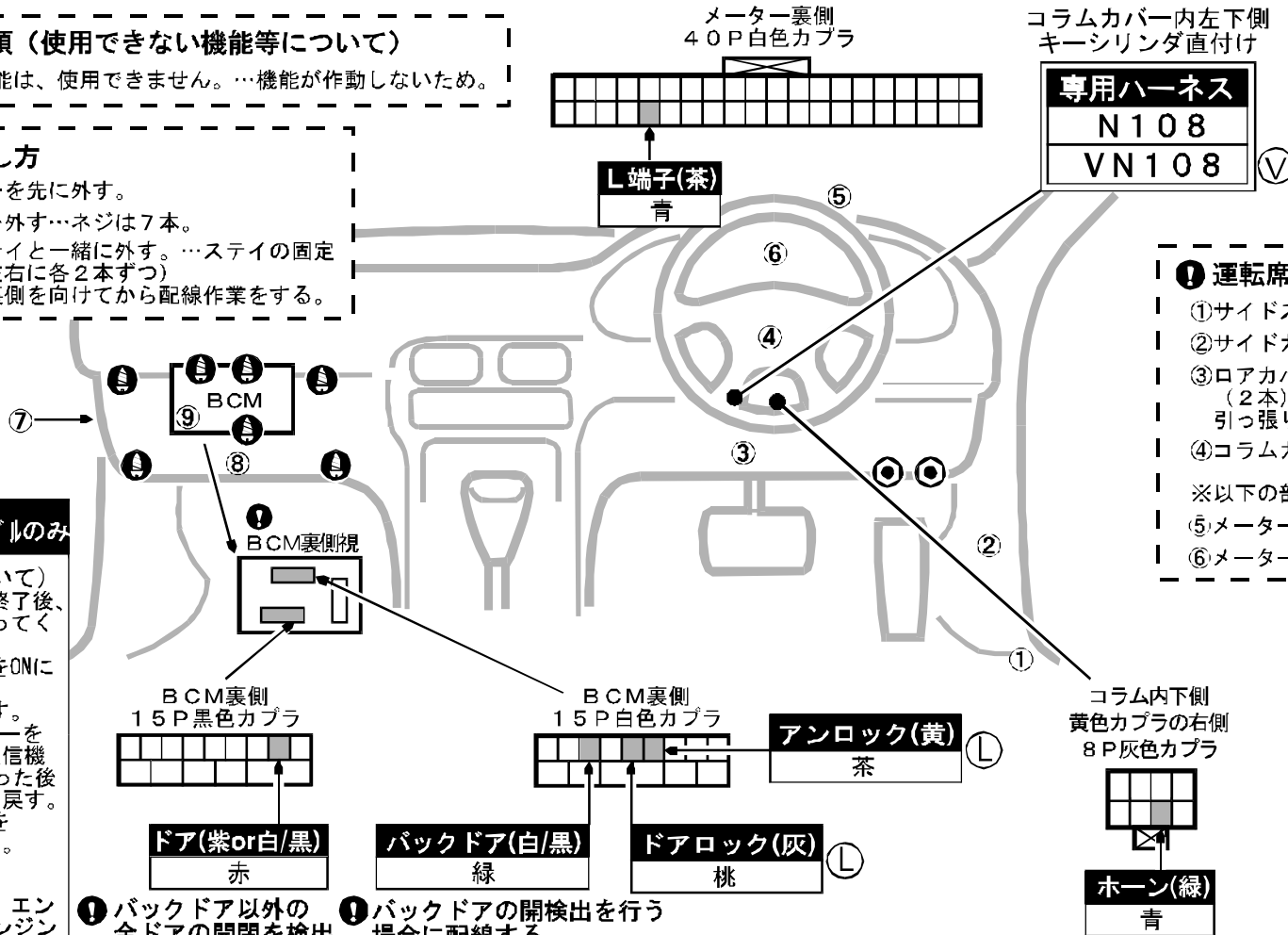
- Ⓛ ①車両のキースイッチをONにする。
- Ⓛ ②リモコンでSTOPを押す。
- Ⓛ ③車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- Ⓛ ④車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- Ⓛ ⑤設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスタートでエンジンがかかりません。

### 配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

止めネジ等  
Ⓛ ナット Ⓛ ビス Ⓛ 隠れビス



Ⓛ 機能付き機種のみ配線

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

### ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

- ①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



- ❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、Ⓥの表示をしてあります。

左記の場合、VN108がVAS対応品です。

- ②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

### ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

- ①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

- ②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

- ③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しください。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。  
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。